

事務事業名		男女共同市民会議等事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	0 2 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目	
	施策名	0 6 ともに支え合う地域づくりの推進		区分		会計	款
	基本事業名	0 3 男女共同参画の促進		単年度繰返		01	02
根拠法令		大船渡市男女共同参画推進条例		※期間欄に開始年度を記入		01	11
所属	部課名	協働まちづくり部男女共同参画室		【開始年度】		事務事業区分	
	課長名	新沼 優		令和5 年度～		E 一般	
	係名		電話	0192-27-3111			
	担当者	鈴木 恭子	内線	278			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
男女共同参画社会の実現に向け、意識啓発・普及活動と連動させながら、「第5次大船渡市男女共同参画行動計画」に基づき、男女共同市民会議や各種講座・研修会等を実施する。						総投入量(千円)	
例年実施している取組は次のとおり。 ・男女共同市民会議「おおふなと市民ミーティング～Make a Happy OFUNATO!～」の開催。(令和5年度から実施) ・男女共同参画関連の各種講座・セミナー等の開催。(学習機会や意識啓発機会の創出) ・男女共同参画週間(6/23～29)、女性に対する暴力をなくす運動(11/12～25)等の各種啓発期間に係る協賛事業の実施、市民活動団体への支援等。(図書展・パネル展示・普及活動等啓発イベントの実施、市広報紙へ関連記事掲載等) ・市広報紙への関連記事掲載。(男女共同参画情報「いきいき通信」及び関連情報の掲載) ・市内外で行われる男女共同参画関連イベントや講座等への参加案内。(関係団体等への情報提供を含む) ・男女共同参画室ホームページにおける、各種関連イベント等の情報発信(随時)						国庫支出金	
						都道府県支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	
						事業費計(A)	
						0	
						正規職員従事人数	
						延べ業務時間	
						人件費計(B)	
						0	
						トータルコスト(A)+(B)	
						0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
・「おおふなと市民ミーティング」を11月から1月にかけて全4回実施 ・各種関連講座等を開催(オンラインセミナー、リカレントプログラム、キャリア形成講座等) ・市内の市民活動団体と連携し、産業まつり会場等における普及啓発活動を実施(啓発パネル展示、チラシ等の配布) ・市広報紙に関連情報を掲載したほか、関連イベント等について市ホームページやSNSなどを活用して周知		ア	各種講座及び普及啓発等イベント開催回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	関連情報に係る市広報紙掲載回数
・おおふなと市民ミーティングの開催 ・各種関連講座等の開催(岩手大学との共催事業、オンラインセミナー、出前講座等) ・各種啓発活動の実施(市広報紙・ホームページ等での情報発信、啓発パネル展示等)		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		カ	市の人口
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
男女共同参画に係る理解の促進と実践的活動により、男女共同参画を推進する気運の醸成を図る。		名称	
		サ	おおふなと市民ミーティングの延べ参加人数
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	各種関連講座・イベント等への延べ参加人数
市民一人一人が、男女共同参画に係る課題意識をもつことで、男女共同参画社会の実現が図られる。		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	国庫支出金	千円	-	-	-	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	-	-	-	533	533	0	
		地方債	千円	-	-	-	0	0	0	
		その他	千円	-	-	-	0	0	0	
		一般財源	千円	-	-	-	304	607	1,140	
	事業費計(A)			千円	0	0	0	837	1,140	1,140
	人件費	正規職員従事人数	人					2	2	2
		延べ業務時間	時間					1,000	1,000	1,000
		人件費計(B)	千円	0	0	0	4,000	4,000	4,000	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	0	4,837	5,140
⑤活動指標										
	ア	回		-	-	-	13	15	15	
	イ	回		-	-	-	12	15	15	
	ウ									
⑥対象指標										
	カ	人		-	-	-	32,476	31,992	32,485	
	キ									
	ク									
⑦成果指標										
	サ	人		-	-	-	37	80	80	
	シ	人		-	-	-	112	200	200	
	ス									

事務事業ID	1860	事務事業名	男女共同市民会議等事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成7年度に、女性施策の総合的な企画・調整を図る窓口として「女性政策推進室」を設置。平成11年に男女共同参画社会基本法が制定されたことを受け、平成14年に大船渡市男女共同参画推進条例を制定、翌15年に「大船渡市男女共同参画行動計画」を策定し、以後5年ごとに見直しを加えながら各種取組を計画的に推進している。 「第5次大船渡市男女共同参画行動計画」(計画期間:令和5年度～令和9年度)の策定に合わせて、令和4年度まで「男女共同参画意識啓発事業」として実施してきたが事業内容を見直し、令和5年度から本事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	令和4年度に実施した「男女共同参画社会に関する市民・事業者アンケート調査」やパブリックコメントなどの結果に基づき、令和5年1月に「第5次大船渡市男女共同参画行動計画」策定した。 社会状況の変化に合わせて、「パートナーシップ制度の導入に係る検討」の取組について、県内他自治体の導入状況を踏まえて、計画期間を前倒して実施することとした。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	男女共同参画関係団体や大船渡市男女共同参画審議会委員等より、意識啓発に係る取組に加え、関係機関との連携・協働や、より実効性のある取組の実施が求められている。 令和5年度から開始した「おおふなと市民ミーティング」の参加者より、本取組のような話し合いの場が、仲間づくりや実践活動などへのきっかけづくりになるとして、継続実施が求められている。 また、関連事業への参加状況などから、男女共同参画の取組において、男性や働き世代等の参画意識の低さが見受けられることから、男性を始めとする関心の薄い層への働きかけや、誰もが参加しやすいような環境の整備、周知方法の工夫などが求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▼ 理由・内容	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？	本事業は、大船渡市男女共同参画推進条例に定める「大船渡市男女共同参画行動計画」に基づき、当市の男女共同参画社会の構築に資するものであり、社会構築には市民の理解や実践的活動が不可欠であることから、政策体系に結びつくものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▼ 理由・内容	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	大船渡市男女共同参画推進条例第4条において、市の責務として、「市は、男女共同参画の推進を主要な政策として位置付け、第3条に掲げる基本理念にのっとり、男女共同参画の推進に関する施策を総合的に策定し実施するものとする。また、男女共同参画の推進に当たり、市民、事業者、公共的団体、国及び他の地方公共団体と連携して取り組むよう努めるものとする。」と定めている。この規定に基づき実施するものであるため、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▼ 理由・内容	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	本事業は、男女共同参画社会の実現に向け、すべての市民を対象として、男女共同参画に係る理念の普及・啓発を図るものであることから対象・意図共に適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▼ 理由・内容	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	対象者の属性(若年層、子育て世代、労働者、高齢者、市民活動団体、企業等)を明確にしなが、それぞれの属性に合致したテーマや手法を検討することにより、市民の関心や各種活動への参加意欲を高めることで、成果の向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▼ 理由・内容	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	男女共同参画社会の実現には、その主体となる市民や各種団体・企業等への働きかけが不可欠であり、事業を廃止した場合、男女共同参画を推進するための気運醸成や意識啓発等を行う手段を失うことになる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	必要最小限の事業費であり、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	事業の委託や関係機関との連携等を図りながら人件費の削減に努めており、現状、最低限の人員体制である。大船渡市男女共同参画審議会委員をはじめ、各方面から取組が不足しているとの指摘があり、これ以上の削減は難しい状況にある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▼ 理由・内容	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	「おおふなと市民ミーティング」や各種講座、パネル展等は無料としており、参加の機会も市民全体に広く開かれており公平・公正である。また、他団体が主催する男女共同参画の推進に資する講座等において、参加者の費用負担がある場合は、一部支援を行うことで適正化を図っている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																				
2 改革改善(縮小・統合含む)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×	「おおふなと市民ミーティング」を始めとする、意識啓発と連動した各種取組の推進を図るに当たり、より効果的な取組となるよう、随時、課題の整理と取組の見直しを図る。 また、男女共同参画の取組に関心の薄い層へのアプローチが不可欠であるため、対象とする者に合致した実施目的とその内容を明確にしつつ、周知方法や実施時期等について工夫する。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		●																				
維持			×																			
低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	我が国におけるジェンダーギャップ指数が世界的に低位にあり、当市においても同様の状況にある中で、本事業の意義は大きいと考える。第5次計画に登載するそれぞれの取組について、より実効性があるものとするため、ターゲット、手法等を適切に選択して実施する必要がある。